

年末のご挨拶



いつも、おおきな木の方針、運営にご理解とご協力いただきましてありがとうございます。2022年も残すところ、あと僅かとなりました。

本年も格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

コロナ禍3年目の今年。まだまだ続いているウクライナの問題や気候変動がもたらす地球温暖化と台風等の自然災害。また、保育業界から胸を締め付ける大きな事故、虐待があり、なぜ、どうしてという憤りに似た複雑な思いにかられています。子どもの安全が最優先です。事故、事件が起きた場合、政府は実態調査を行い、私たちはどうだろうか、振り返り確認し、再発防止のための研修を行います。その時の

「ここは、本当にそういう保育が全然ないので、それだけで気持ちがいいです。」という職員の言葉は、本当に有難く感じます。

業界から二度と起きないように、全国各園で、今、安全管理に目を向け再発防止に取り組んでいます。政府には、子育ても保育も、だれもが安全で安心して暮らしていけるにはどうしたらいいのか、子育てにかかる経済的負担の軽減や環境整備、施策、配置基準や賃金など処遇などについて改善の歩みを継続していただきたいと強く願います。子育ても保育も心のゆとりが大事ですね。

ネガティブな話ばかりになってしまいました。感染防止のため自粛していた行事は、対策を行うことで、保護者の皆様と開催することができました。ご参加いただきまして本当にありがとうございました。懇談会や参加会、遠足やお弁当。お子さまと保護者の皆様の目が合う写真などは、最高の幸せの瞬間だなと感じております。

なかでも、ウクライナ避難民の方への支援を目的としたワークショップイベントは、完全招待制としましたが、在園児、卒園児とそのご家族の笑顔あふれる、あたたかく素敵な時間となりました。地域支援の一役となるよう継続していければと思います。

また、普段の保育やお子さまの様子を発信できるようInstagramを開設しました。お忙しいとは思いますが、もしよろしければご覧いただければ幸いです。

当初、こちらの「ちょっとひといき」で子育てや保育に関する記事を1回/月程度で発信しておりましたが、回数を減少し継続する予定であります。事後のご連絡となり申し訳ありません。ご容赦いただければと思います。

来年も、その子らしく生きていくために、子どもも大人もそれを見ている誰からも「いいねっ」って思える環境づくりを大切にしていきます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

歳末のご挨拶とさせていただきます。

一段と寒さが厳しくなるようです。お体に気を付けてよいお年をお迎えください。

小規模保育園 おおきな木
園長 山本敏彦